

続サラリーマン忠臣蔵 (1961)

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 110分

初公開日 1961/02/25

【解説】

前年に公開された「サラリーマン忠臣蔵」の続編であり完結編。前作と同じキャスト・スタッフが集結した。

赤穂産業に辞表をたたきつけた大石は大石商事を立ち上げ、赤穂産業から同志の社員たちを迎え入れた。その数、四十七名。アマン商会の独占特許を売り込むべく奔走する大石だったが、吉良の妨害工作により会社の業績は悪化、社員への給料支払いも難しい状況になってしまう。大石は自宅を抵当に入れ、妻を実家に帰して、自分は元運転手の寺岡の家に転がり込んだ。何度も面会を拒否されてきたアマン商会の天野社長の自宅を訪ねた大石は、意外なことにその場で契約を取り交わすことに成功する。実はアマン商会の肥後常務が吉良方に買収されており、契約の話を経営者に取り次いでいなかったのだ。大石は全社員を蕎麦屋の二階に集め、赤穂商会の株主総会に乗り込んでいく。

【クレジット】

監督 杉江敏男

製作 藤本真澄

原案 井原康男

脚本 笠原良三

撮影 完倉泰一

美術 清水喜代志

村木与四郎

編集 小畑長蔵

音楽 神津善行

助監督 児玉進

出演 森繁久彌

大石良雄

久慈あさみ

大石律子

夏木陽介

大石力

小林桂樹

寺岡平太郎

新珠三千代

芸者加代次

東野英治郎

吉良剛之介

加東大介

小野寺十三郎

坪内美詠子

小野寺丹子

有島一郎

大野久兵衛

三橋達也

Tatsuya Mihashi

大野定五郎

団令子

大野小奈美

宝田明

早野寛平

司葉子

早野軽子

山茶花究		伴内耕一
三船敏郎	Toshiro Mifune	桃井和雄
志村喬		角川本蔵
草笛光子		一文字才子
左卜全		天野義平
南道郎		越後豊
河津清三郎		山鹿之行
中島そのみ		堀部安子
藤木悠		赤垣源蔵
江原達怡		磯貝十郎
児玉清		岡野欣哉
沢村いき雄		倉橋伝介
八波むと志		竹林唯七
小杉義男		清水一角
柳家金語楼		そば屋のおやじ
塩沢とき		ホステス A
園田あゆみ		芸者 A